

若生会会報

令和 7 年 12 月 1 日発行

秋田県立衛生看護学院看護科同窓会

1. 会長挨拶



若生会 会長 信太 喜代子（新 3 年課程-4 期生）

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

この度、令和 7 年 4 月 19 日に開催されました令和 7 年度理事会にて選任され、ご承認をいただき、会長を務めさせて頂くことになりました看護科新 3 年課程 4 期生 信太喜代子と申します。

少し自己紹介をさせていただきます。私は、秋田県立衛生看護学院(以下看護学院とする)を卒業後、秋田労災病院での勤務を経て、平鹿総合病院で勤務をしております。平鹿総合病院では、平成 20 年(2015 年)より看護学院の看護科実習生を受け入れており、日々後輩育成に協力をしているところです。しかしながら、会員総数約 3570 名余りを擁する看護学院同窓会の歴代会長が築かれた伝統と歴史を考えますとその責務の重さに身の引き締まる思いがいたします。

さて、若生会は今年度 64 年目を迎えており、令和元年(2018 年)にホームページが開催されております。当ホームページの開設によって、多くの方々に同窓会の近況をお知らせするほか、遠方にお住まいの方々にも、同窓会に関心を持っていただけることを期待しています。今後、ホームページをご利用いただき、会員の皆様のより一層のつながりが持てるように、また各期を超えて親睦が深められるような活用が得られるよう、努力してまいります。

また、昨今の社会情勢、少子高齢化問題等医療を取り巻く環境は、大変厳しいものがございます。そんな中、看護職を育成し医療・福祉の現場へ飛び立って活躍する後輩たちを少しでも支援し、看護学院の発展に寄与できるよう同窓会の活動ができればと考えております。

今後とも会員の皆様よりご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2. 学院長挨拶



学 院 長 新号和政

本年4月から学院長に就任いたしました新号と申します。

秋田県立衛生看護学院若生会の皆様には、日頃から母校へ温かい御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

特に、入学式等における式典での祝賀花や玄関前のプランターの鉢花は、式典や学校の雰囲気華やかにするだけでなく、学生や教職員はもちろんのこと、御来客の皆様にも、癒しと安らぎを与えてくださっています。この環境的・心理的な効果は非常に大きいと感じており、心から感謝の気持ちでいっぱいです。改めて、厚く御礼申し上げます。

さて、県内の看護師養成所では、近年、入学者数の減少が続き、定員を充足できないところが多く見られております。そのような状況の中、本学院が定員を満たしているのは、ひとえに、優れた看護専門職として地域医療を支えていらっしゃる若生会の皆様の御尽力があってこそと、深く敬意を表します。

一方で、本学院も受験者数の減少傾向が続いているため、令和8年度の学生募集からは、新たな社会人入試枠の導入や試験科目の見直しを行うなどの対策を講じ、受験生確保に取り組んでおります。若生会の皆様には、こうした情報の発信にもお力添えいただければ幸いです。

看護職は、時代の変化とともに、より高度で多様な役割が求められています。私たち教職員は、学生たちがこれからの社会で必要とされる知識や技術、そして豊かな人間性を育めるよう、教育の質の向上に一層努めてまいります。

若生会の皆様には、引き続き温かい御指導と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御活躍と御健勝を心よりお祈り申し上げます。

私の看護師人生を振り返って

新3年課程1期生 成田 睦子

若生会の皆様こんにちは。新3年課程1期生の成田と申します。この度、同窓会ホームページへの寄稿のお話をいただき、40年前の学生時代を振り返ってみました。

新3年課程1期生の私たちは寅年生れの怖いもの知らずで、勢いそのまま様々なことにチャレンジさせていただきました。中でも思い出深いのは、東北看護学生ゼミナールの幹事を（一方的に）割り当てられ、新参者の私たちが運営・企画を行い東北の看護学生との交流会を主催したことです。八郎潟ハイッスを会場にフォーク歌手を呼び講演会やシンポジウムで学生間の交流を深めました。また、「衛看際」を始めたのも私達でした。父兄に協力してもらい軽トラックいっぱい細い竹を調達し暗幕や人体模型を使ってお化け屋敷を作ったり、たこ焼きなどの軽食コーナーを開いたりしました。実習で、ギブス固定して通学し、数日後電動ギブスカッターでカットする等ユニークな思い出が沢山あります。当時、若い教務の先生方と激しくディスカッションすることも多く、生意気だった私たちと向き合ってくれたことに、深く感謝します。30代の頃若生会の会報に寄稿したことがありました。タイトルは「看護師は私の天職」でした。出来ることも増え、患者さんやスタッフに頼られることも多く、生き生きと働いていた時期で看護師であることに喜びを感じ、そのように表現したのだと思います。年齢がいくにつれ、管理的な業務が多くなり天職だったのかと疑問抱くこともありましたが、学生時代の経験が、自身の根幹となりチャレンジ精神で乗り越えることができた振り返ります。

60歳で定年を迎え、1年間再雇用で放射線治療専従の看護師として放射線技師の皆さんや放射線治療の専門医と働いたときは、看護師人生の最後にご褒美をいただいたような気持ちでした。放射線治療を受けるために毎日通う患者さん達から「あなたのおかげで毎日通うことができました」とプラスのフィードバックをいただき、放射線科の皆さんと心の通ったチーム医療ができ、看護師が大好きと思える日々を送ることができました。現在は医療現場を離れ秋田県看護協会で働いています。現場で働く皆さんのお役に立てるよう、これまでの看護師人生に感謝しながら勤めていきたいと思っています。



子育て応援団すこやか秋田 2025 にて

同窓会に寄せて

新 3 年課程 4 期生 佐々木 美和子

秋田県立衛生看護学院若生会の皆さま、このような機会をいただき、誠にありがとうございます。私は新 3 年過程 4 期生の佐々木（旧姓 細田）美和子と申します。現在私は、秋田県立循環器・脳脊髄センターの看護部長を担い、3 月で役職定年を迎えます。看護学院を卒業後、当時の秋田県立脳血管研究センターに就職し、60 歳になるまで勤務し続けることができたことは、私自身にとっても驚きです。入職した昭和 62 年当時は、バブル期でもあり、私達は「新人類」と呼ばれ、何をしても先輩看護師から受け入れてもらうには時間がかかったように思います。そんな少し辛い新人時代を乗り越えられた理由の一つに同期の仲間の存在がありました。入職同期 12 人で、「せめて 5 年は働こう」と励まし合っていたものです。

管理職になり、院外の研修に参加すると同じく管理職に就いた看護学院の先輩・後輩の方々、同期の仲間との再会がありました。何年もご無沙汰していても会うと不思議なもので、学生時代と同じ感覚で話せることの嬉しさと同時に、同窓の皆さま方の奮起している姿から力をいただきました。本当にここまでこれたのは、家族の支えはもちろんのこと同僚、なんといっても同期の仲間と同窓生のおかげと思っています。

そして、ずっと忘れられない言葉があります。「看護師は自分が幸せでないとできない仕事です」とおっしゃっていた学院の先生の言葉です。働いているうちに、全くその通りであると感じるようになりました。今では、入職した新人看護師に「自分が幸せでないと良い看護はできない」と話しているのだから恩師の言葉が、よっぽど響いていたのだなと思います。

これからのことは、まだ何も決めていませんが、先日初孫が誕生し、両親も健在であるため家族との時間を大切にしたいと考えています。最近、日々の暮らしを整えることで心が満たされることを感じます。この先も当たり前の普段の生活の中の小さな幸せを噛みしめて、過ごしていきたいと思っています。

株式会社プレイフル取締役 ナーシングホーム LiB ひらか 藤井 綾

新3年課程 27期生（旧姓 佐々木）

秋田県立衛生看護学院を卒業してから十数年、私は地元の病院勤務をし学生時代の学びを活かしながら看護に携わってきました。その中で、母が急性大動脈解離スタンダードAを発症。術後合併症を患い、呼吸器管理となり、施設の受け入れ先が見つかりませんでした。また、元気だった母を突然失い、変わった母を受け入れられないという大きな喪失感を感じました。

その時、母に親孝行が出来ないか考え、私の夫と一緒に株式会社プレイフルを起業し、2024年にどのような医療依存度が高い方でも入所可能な「ナーシングホーム LiB ひらか」を立ち上げました。看護師としての臨床経験を重ねる中で、終末期を過ごす方々が、退院した後も安心して治療を受けながら穏やかに自分らしい幸せを感じながら生活できる場をつくりたいという強い思いがありました。これらの思いから住宅型有料老人ホームに訪問看護・訪問介護を併設した新しい形の施設を運営するに至りました。現在は26床の規模で施設運営をし、在宅や他施設への訪問看護も行い、地域の方々に支えられながらオープンして2年目となりました。

学生時代、先生から教わった「看護の本質は相手の人生に寄り添い、その人の人生の目標を共に支えること」という言葉は、今も私の軸になっています。ナーシングホームでのケアもまさにその延長であり、医療的ケアを必要とする方々が、自分らしく最期まで過ごせるよう支えることを大切にしています。また、ご利用者様と人生の目標を具体的に掲げるドリームプロジェクトを実施し、毎日楽しく自分らしい日々を過ごせるよう関わっています。それも、実現に向けて努力する姿勢を学生時代に学んだからこそです。学生時代の教えは経営者としての現在にも生きており、「関わるすべての人を幸せに」という理念のもと、ビジョンを明確にし、スタッフと共に医療福祉業界の変革と理念実現のために日々挑戦を続けています。

これからも初心を忘れず、学院で学んだ看護の原点を胸に、地域の方々と共に歩んでいきたいと考えています。出会いに感謝。皆様ありがとうございます。



令和6年度 若生会収支決算書

自令和6年4月1日

至令和7年3月31日

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	適用
会費	328,000	280,000	▲ 48,000	42期生入会金8000円×35名=280,000円
寄付金	0	158,844	158,844	卒業生より
繰越金	648,509	648,609	100	前年度繰越金
雑収入	0	221	221	銀行利子
合計	976,509	1,087,674	111,165	

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	適用
管理費	240,000	106,998	▲ 133,002	
内訳	会議費	100,000	23,989	▲ 76,011 役員会・理事会開催費用
	事務費	100,000	83,009	▲ 16,991 消耗品費、交通費
	慶弔費	30,000	0	▲ 30,000
	備品費	10,000	0	▲ 10,000
事業費	520,000	216,200	▲ 303,800	
内訳	ホームページ管理費	300,000	39,600	▲ 260,400 会報印刷費、送料
	卒業生記念品	80,000	45,600	▲ 34,400 33名分の印鑑
	祝賀花贈呈費	50,000	45,000	▲ 5,000
	母校への協力(環境美化)	90,000	86,000	▲ 4,000 花の苗、手入れ作業代
準備金	0	0	0	第22回総会準備金
予備費	216,509	0	▲ 216,509	
合計	976,509	323,198	653,311	

総収入額 1,087,674 円 — 総支出額 323,198 円 = 差引残高 764,476 円
(次年度へ繰越)

令和7年4月1日

会計監査の結果、金銭出納帳及び領収書、預金通帳等適正に処理されている事を認めます。

会計監査

佐藤 美穂



会計監査

佐藤 ひとみ



令和7年度 若生会収支予算書(案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

収入の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	差引増減額	適用
会費	328,000	280,000	▲ 48,000	43期生入会金 8000円×35名＝280,000円
寄付金	0	0	0	
繰越金	648,509	764,476	115,967	前年度繰越金
雑収入	0	0	0	銀行利子等
合計	976,509	1,044,476	67,967	

支出の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	差引増減額	適用
管理費 ①	240,000	530,000	290,000	
内 訳	会議費	100,000	0	役員会・理事会・編集委員会 開催費用
	事務費	100,000	150,000	消耗品、通信費、交通費
	慶弔費	30,000	0	弔電代
	備品費	10,000	140,000	パソコン買い換え代
事業費 ②	520,000	320,000	▲ 200,000	
内 訳	ホームページ 管理費	300,000	▲ 200,000	レンタルサーバードメイン取得・ 管理費
	祝賀花贈呈	50,000	0	入学式、戴帽式、卒業式
	卒業生記念品	80,000	0	ボールペン
	母校への協力 (環境美化)	90,000	0	花の苗、手入れ作業代
準備金 ③	0	0	0	
予備費 ④	216,509	194,476	▲ 22,033	
合計(①+②+③+④)	976,509	1,044,476	67,967	

令和6年度 事業報告

1. 秋田県立衛生看護学院若生会理事会開催

日時: 令和 6年 4月 20日(土) 10時～

場所: 衛生看護学院会議室

2. 母校環境美化

年2回 プランター鉢花

3. 祝賀花贈呈

年3回 (入学式・戴灯式・卒業式)

4. ホームページ更新 (第37号会報)

※令和6年12月1日更新

郵送希望者には、ホームページをコピーして郵送しました。

5. 卒業生への同窓会入会説明・記念品贈呈

kangoka-wakoukaiの名入れボールペンを贈呈しました。

6. 役員会の開催

※役員会を5回開催しました。

令和7年度 事業計画 (案)

1. 秋田県立衛生看護学院若生会理事会開催

日時: 令和7年4月日19(土) 10時～

場所: 県立衛生看護学院会議室

2. 母校環境美化

年2回(4月、7月)プランター鉢花(ベコニア)

3. 祝賀花贈呈

年3回(入学式・戴灯式・卒業式)

4. ホームページ更新(第38号会報)

5. 卒業生への同窓会入会説明・記念品贈呈

6. 役員会の開催

〈活動の様子〉

衛看祭

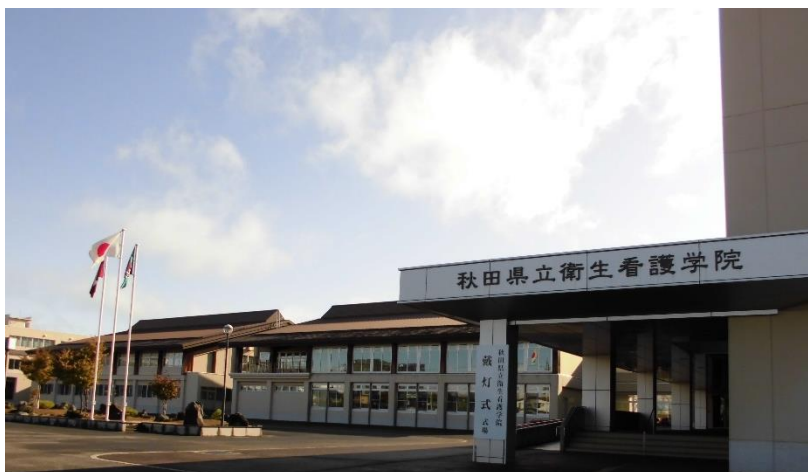


学院周围





戴灯式



〈編集後記〉

今年の夏も危険を感じるほどの暑さに、地球温暖化の怖さを身をもって実感しました。さて、同窓会では高橋会長から信太新会長になりました。高橋会長には本当に長い間ありがとうございました。まだ現役である信太新会長には、新しい風を吹き込んでいただき役員一同頑張っていきたいと思います。(佐々木)